

オンライン
開催

なら思春期・不登校支援研究所 主催

今、学校が求められている いじめ問題の理解と対応

いじめの重大事態を引き起こさないために・・・

日程 2022年4月24日（日）10:00～16:00

● 午前の部 10:00～12:00 新井肇先生（関西外国語大学教授）

「いじめの現状と防止対策の方向性—スクールカウンセラーに求められる役割を中心に—」

2013年に「いじめ防止対策推進法」が制定されて以降、各学校において、いじめの積極的な認知と解消に向けた取り組みが進められていますが、自殺などの深刻な事態の発生は後を絶たない状況です。このような状況において、「いじめの防止のためにスクールカウンセラーに求められる役割は何か」ということについて考えてみたいと思います。

<講師紹介>専門分野は、生徒指導論、カウンセリング心理学。30年間の高校教員の経験を踏まえ、いじめ防止、自殺予防等を中心に、生徒指導の理論と実践を架橋する研究に従事。現在、文科省「いじめ防止対策協議会」座長、日本生徒指導学会副会長。『「教師を辞めようかな」と思ったら読む本』（単著、明治図書、2016）、『子どもたちに“いのちと死”の授業を—学校で行う包括的自殺予防プログラム—』（共著、学事出版、2020）など著書多数。

● 午後の部 13:00～15:00 石田達也先生（弁護士：吉原稔法律事務所）

「自死遺族の心理と支援の実際—多くの自死遺族代理人の経験から—」

社会にインパクトを与えた多くのいじめ自死事案の遺族代理人をつとめる中で、子どもの死を受け止められないご遺族の苦しみや混乱を支えてきました。そうした経験から、ご遺族の心理と求められる支援の実際についてお話ししたいと思います。

<講師紹介>大津中2いじめ自死事件など、いじめ、体罰、事故など学校、教育に関する事件を担当。また、香川県豊島汚染土壌搬入問題、延暦寺・残土処分場問題、樹齢400年トチノキ巨木伐採問題など、自然環境保護・公害問題のほか、亀岡市登校中児童ら死傷事故、大津市保育園児死傷事故など犯罪被害者支援にも取り組む。滋賀弁護士会所属。

● 15:00～16:00

講師の先生方によるパネルディスカッション

● 対象：不登校支援やいじめに関わる専門職の方 （SC・SSW・教員・弁護士の方など）

● 参加費：全日参加のみ8,000円 臨床心理士ポイント申請予定

お申込みメールフォーム

http://nara-futoko.net/index_mailform_20223_424.html

なら思春期・不登校支援研究所 とは…

本研究所は、子どもたちを支える保護者や、教員・スクールカウンセラーなどの専門職をサポートするための研修の機会を提供します。職種や立場を超えて、みんなで学び支援の輪を広げていくための、拠点の一つとなることを目指しています。

アドバイザー：伊藤美奈子・粕谷貴志・栗本美百合・阪中順子

相馬誠一・竹下三隆・良原恵子(五十音順)

お申込み方法

メールフォームに下記の項目を明記ください

※締切：4月10日（木）定員50名

<先着順、定員になり次第締め切ります>

申し込み先：下記のメールフォームもしくはQRコードより

- 1) 氏名（ふりがな）
- 2) 携帯電話番号
- 3) 返信用アドレス
- 4) 職種
- 5) 勤務地または居住地
- 6) お持ちの方は臨床心理士番号
- 7) 質問したいことなどがあれば

* 振り込みが確認されてから、お申し込みが確定します
振込先は、お申込みの後

メールにてお知らせいたします

問い合わせ先 なら思春期・不登校支援研究所
研修担当栗本

sayurikuri@gmail.com